



2014.8.25発行

医療法人はまなすホームページ <http://www.hamanasugeka.com>医療法人
はまなす **はまなす医院** 〒061-3284 石狩市花畔4条1丁目141番地1
TEL(0133)64-6622 FAX(0133)64-6555医療法人
はまなす **篠路はまなすクリニック** 〒002-8024 札幌市北区篠路4条9丁目12番45号
TEL(011)776-3030 FAX(011)776-3001

工藤謙三相談役の自宅庭園。色とりどりのバラが咲き誇っていました。

鏡像手術における mirror image

理事長 工藤岳秋

消化器疾患に対する腹腔鏡手術が普及しており、当院でも胆のう摘出術、虫垂切除術、そいべルニア修復術などに適用しています。一般的にはキズが小さく低侵襲であること、カメラによる拡大視で開腹手術より細かい操作ができること、等の利点が強調されますが、欠点としては

慣れていなければ、慣れて手際が良くなっています。現代の外科医が習得すべきスキルの一つです。

＊＊＊

篠路はまなすクリニックの増築工事が進んでいます。

既存の透析室に外来・放射線・内視鏡・手術室・病棟が接続され、新たなコラボレーションが来春から始まります。一方、はまなす医

院は一般外来・血液透析のクリニックとなり、役割がこれまでと反対になります。

開業以来20年間積み重ねた経験とともに、スタッフとの十分なシミュレーションで mirror image に対応できるチームを作り上げ、新たな色の「はまなす」を咲かせたいと思います。

当初 mirror image ではぎこちない動きとなり、鉗子と呼ばれる長い器具で組織をつかんで引っ張るのもやつです。しかし繰り返し同じチームで手術を行っていくと



施設紹介・はまなす医院

はまなす医院・篠路はまなすクリニックの各部門を順次紹介していきます。

○放射線部門

はまなす医院では一般撮影装置、CT、透視撮影装置が稼働しており、外来、入院、透析の患者様に対し検査・治療を行っています。

常勤スタッフは診療放射線技師2名（菅原、山本）です。画像情報の作成・管理にあたって、^{*}「放射線防護の三原則」である「行為の正当化」「防護の最適化」「個人の線量限度」の実践を使命とし、常に安全を追求しています。近年、医療が専門分野に細分化され日々進歩とともに、CTやMRIなどによる画像診断も目覚ましい進歩を遂げています。私たちも常に最新の情報・技術を習得し、当院の装置を駆使できるよう最大限に努力しています。また他の医療スタッフとのコミュニケーションを大切にして、患者様により安心していただけるよう業務に励んでいます。

*国際放射線防護委員会（ICRP）によって勧告されている放射線防護の基本的な考え方。

診療放射線技師 菅原次郎



○病棟

はまなす医院の病棟は19床で、スタッフは看護師長および看護師6名、看護助手6名で構成され、宿直者を置いて24時間体制をとっています。

今年度から、患者様一人一人に対しより責任を持った看護を開けるため、スタッフの人数に限りはありますが受け持ち制を導入しています。丁寧で温かみのあるケアを実践すべく、患者様や御家族との関わりを大切にし、できる限り気持ちに寄り添えるよう心がけています。

またスタッフはそれぞれ定期的に院外の研修に参加し、より多くの専門的な知識を身に付け安全な医療を提供できるよう努力しています。

病棟主任 高村憩



はまなす医院 平成26年6月からの、外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金	土
外科	午前 受付12:00まで	工藤 岳秋	工藤 謙三	北大出張医	工藤 岳秋	工藤 謙三
	午後 受付16:45まで		工藤 謙三	北大出張医	工藤 岳秋 (受付15:30まで)	北大出張医
内科	午前	関根 光男	三好 茂樹	休診	石川 洋三	三好 恒子(第1・3) 休診
	午後	関根 光男	三好 茂樹	休診	休診	休診



私たちの研修報告

最新知識の習得とスキルアップを目指し、日々研鑽を積んでいます。

○透析療法従事職員研修



7月19日、20日の2日間、日本腎臓財団主催の透析療法従事職員研修（埼玉県さいたま市・大宮ソニックシティ）に、三好茂樹医師とともに看護師1名、臨床工学技士2名が参加しました。慢性腎臓病の現況、透析医療の基礎・合併症・栄養管理等について講演を通じて幅広く学ぶことができ、大変有意義でした。引き続き8月下旬から約10日間、指定施設での実習が行われます。身に付けた知識に加え基幹病院における経験で更なるレベルアップを図り、患者様によりよい透析医療を提供していくよう努めたいと思います。

臨床工学技士
山口あかり

○BLS (Basic Life Support = 一次救命処置)

当法人では全職員を対象としたBLS院内研修を年1回実施しています。今年は7月にはまなす医院、篠路はまなすクリニックそれぞれで行いました。突然の心停止などの緊急事態を察知した際に取るべき対応を体得できるよう、繰り返し訓練しています。

近年、医療機関だけではなく様々な場所でAED（自動体外式除細動器）を見かけるようになりました。胸骨圧迫と人工呼吸による心肺蘇生に加え、AEDを適切に使用することで救命率はさらに上がります。患者様の体調管理が私たちの一番の仕事ですが、

万が一の急変にも対応できるよう準備をしています。



納涼会

7月26日、毎年恒例の納涼会がサッポロビール園にて開催されました。



ローズガーデン・バーベキュー(はまなす医院)

6月26日と7月3日に花畔の工藤謙三相談役の自宅で開かれました。7年ほど前から始めた趣味のバラ栽培が高じてしまったそうで、約110種が豊かな色合いで咲いていました。丈夫で香りの良い品種を集めるところから始まり、花の色や形・背丈を合わせ、フェンスや家の壁で配置を工夫したそうです。見事なグラデーションとなっていてとてもロマンチックでした。バラで癒された後は、暗くなるまでバーベキューを楽しみました。

医事課主任 菅野 乃梨



「篠路はまなすクリニック」増築工事が進んでいます。

通院患者様、地域の皆様には多大な御迷惑をおかけしておりますが、来春のオープンまで、御協力いただければ幸いです。現在のところ、順調に進んでいます。



完成予想図

ひとくちメモ 夏バテ対策 10か条

夏バテは、伝統的には暑さからくる食欲低下や食事の偏り、大量の汗、睡眠不足といったものとされています。ところが最近は、「冷房」が大きく関与していると言われています。室内と屋外との温度差に身体が混乱し、自律神経失調を引き起こすのです。



夏バテ対策10か条

- 1、冷房温度を高めに調整する。
省エネの面からも28度がオススメです。
- 2、こまめに上着を脱ぎ着する。
- 3、冷房よりも除湿・扇風機をうまく使う。
- 4、冷房はおやすみタイマーをかける。
- 5、安眠のために頭を冷やす。
- 6、冷たい飲み物のがぶ飲みはNG。おすすめは、ぬるめのミントティー。
- 7、少量でも良質のたんぱく質・ビタミン・ミネラルを摂る。
- 8、刺激の強い食べ物で食欲増進を図る。
- 9、夏太りに注意。
「冷房の効いた部屋にいるのに暑いからいっぱい食べなきや」というのはちょっと…。
- 10、上手に汗をかく涼しい夕方にちよつと歩いてみるなど適度な運動を。

★規則正しい生活が夏バテ撃退の最大の対策です★

看護師長 庄田 尚子

参考文献：国民生活センター「夏バテ対策講座」



お盆の頃に親類で集まる方も多いと思います。今年の我が家では少々早く、8月上旬でした。ご存知かもしれませんか、昨今はお年玉ならぬ「お盆玉」というものがあるそうです。聞き慣れないこともありますですが、この風習にどうにも違和感がぬぐえません。今回来た幼稚園児にはお盆玉用のポチ袋を使わず、あくまでただのお小遣

いとして渡しました。しかし、だんだん一般的になりつつあるとのことですので覚えておいたほうが良いかもしれません。

はまなす季刊では今後も、院内の行事や増築の情報についてご報告していきたいと思います。応援していただければ幸いです。

(H.B)